

佐賀県感染症発生動向調査速報

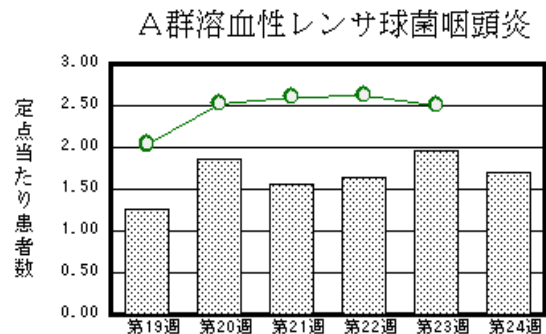
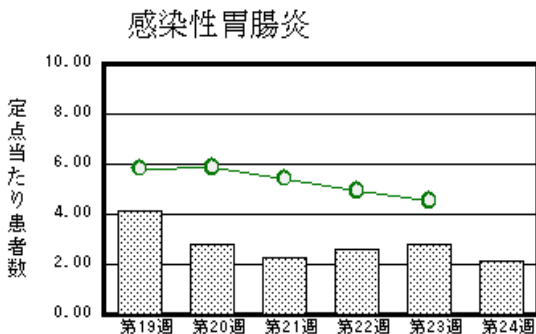
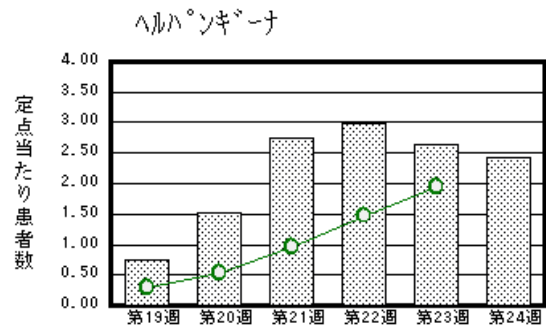
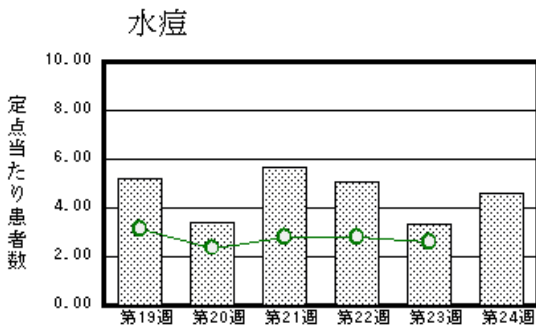
平成18年第24週 平成18年6月12日(月)～平成18年6月18日(日)

<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 水痘 (106名) ヘルパンギーナ (56名) 感染性胃腸炎 (49名)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (9名) インフルエンザ (28名)
- 【水痘】患者報告数が増加しました (77名 106名)。過去5年間の同時期と比較して患者報告数が多くなっています。詳しくは佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。
<http://www.kansen.pref.saga.jp/kakotopics/kakotopics/suitou.html>
- 【ヘルパンギーナ】患者報告数は減少しました (61名 56名)が、全国的に報告数が増加しています。うがい、手洗い等一般的な感染予防に努めましょう。詳しくは国立感染症研究所感染症情報センターの「感染症の話」を御覧ください。
http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_08.html
- 【インフルエンザ】患者報告数が減少しました (36名 28名)。6月6日に病原体定点より提供された1検体からインフルエンザウイルスB型が検出されました。詳しくは佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。
<http://www.kansen.pref.saga.jp/influenza/influenza.html>



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。<http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2006年第22週号 (6月29日～6月4日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第22週 > インフルエンザの定点当たり報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	< A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 > 夏季に入って報告数が多くなるので、その発生動向には今後とも引き続き注意が必要である
・ 病原体情報	手足口病患者から検出されているウイルス2006年 / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2006年 / インフルエンザウイルス2005/06シーズン
・ 速報	エンテロウイルス71型 (EV71) の検出状況 - 愛知県
・ 海外感染症情報	インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況 / アンゴラでのコレラ流行 / ナミビアでのポリオ流行
・ 感染症の話	< 野兔病 > 野兔病菌による急性熱性疾患で、代表的な動物由来感染症の一つである

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページを御覧ください。<http://www.idsc.nih.go.jp>

佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

今週の届出はありませんでした。

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 :五類感染症 (週報分)

平成18年第24週 平成18年6月12日 (月)~平成18年6月18日 (日)

定点種別 (定点数)	管轄保健福祉 事務所 病名	佐賀中部	鳥栖	唐津	伊万里	杵藤	計	前週	全国 (第23週)
		インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	12 0.92	5 1.00		4 0.80	7 0.78	28 0.72
小児科 (23)	RSウイルス感 染症								109 0.04
	咽頭結膜熱	8 1.00	7 2.33	2 0.50	1 0.33	2 0.40	20 0.87	26 1.13	3915 1.30
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	14 1.75	9 3.00	9 2.25	3 1.00	4 0.80	39 1.70	45 1.96	7595 2.51
	感染性胃腸炎	16 2.00	23 7.67	4 1.00		6 1.20	49 2.13	64 2.78	13681 4.53
	水痘	36 4.50	17 5.67	11 2.75	7 2.33	35 7.00	106 4.61	77 3.35	7822 2.59
	手足口病	6 0.75	1 0.33	4 1.00		1 0.20	12 0.52	5 0.22	2254 0.75
	伝染性紅斑	5 0.63			1 0.33	1 0.20	7 0.30	9 0.39	1694 0.56
	突発性発しん	3 0.38	9 3.00	7 1.75	1 0.33	5 1.00	25 1.09	27 1.17	2015 0.67
	百日咳								35 0.01
	風しん	1 0.13					1 0.04		18 0.01
	ヘルパンギーナ	7 0.88	30 10.00	1 0.25	3 1.00	15 3.00	56 2.43	61 2.65	5876 1.95
	麻しん (成人 麻しんを除く)								22 0.01
	流行性耳下腺炎	4 0.50	4 1.33	1 0.25	2 0.67	2 0.40	13 0.57	30 1.30	5316 1.76
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								19 0.03
	流行性角結膜炎					1 1.00	1 0.25	1 0.25	759 1.21
基幹 (6)	細菌性髄膜炎	1 0.50					1 0.17		8 0.02
	無菌性髄膜炎								26 0.06
	マイコプラズマ肺炎	4 2.00					4 0.67	4 0.67	192 0.43
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								8 0.02
	成人麻しん								3 0.01

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成18年第24週 平成18年6月12日(月)~平成18年6月18日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイ ルス感 染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科 基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
0~5ヶ月		0~5ヶ月						1								0~5ヶ月								
6~11ヶ月		6~11ヶ月		2		3	13			16			3			6~11ヶ月								
1歳	1	1歳		7		5	23	2		9			14		2	1歳					1			
2歳	1	2歳		1	2	6	20	1	2				18		3	2歳								
3歳	1	3歳		2	9	3	16	2	1				9		4	3歳								
4歳		4歳		2	6	4	13	4				1	4		2	4歳					1			
5歳		5歳			4	2	6						6		1	5歳					1			
6歳	1	6歳		4	7	9	5	1					1			6歳					1			
7歳	2	7歳		1	7	5	5	1	2				1			7歳			1					
8歳	2	8歳			1	1	2								1	8歳								
9歳	1	9歳			2		2									9歳								
10歳~14歳	12	10歳~14歳			1	4	1		2							10歳~14歳		1						
15歳~19歳	5	15歳~19歳				1										15歳~19歳								
20歳~29歳		20歳以上		1		6										20歳~29歳								
30歳~39歳																30歳~39歳								
40歳~49歳	1															40歳~49歳								
50歳~59歳																50歳~59歳								
60歳~69歳																60歳~69歳								
70歳~79歳																70歳以上								
80歳以上	1																							
合計	28	合計		20	39	49	106	12	7	25		1	56		13	合計		1	1		4			
前期計	36	前期計		26	45	64	77	5	9	27			61		30	前期計		1			4			
当期間/前	0.78	当期間/前	***	0.77	0.87	0.77	1.38	2.4	0.78	0.93	***	***	0.92	***	0.43	当期間/前	***	1	***	***	1	***	***	***
増減数	-8	増減数		-6	-6	-15	29	7	-2	-2		1	-5		-17	増減数			1					

***は前期計が"0"のとき

